

項目	内容
名称	アスパラギン酸 [英]Aspartic acid (Asp) [学名]-
概要	<p>アスパラギン酸は、2-アミノコハク酸のことで、L-体はタンパク質を構成する非必須アミノ酸の一つである。生体内ではアスパラギンからアスパラギナーゼの作用により生成させるほか、オキサロ酢酸にグルタミン酸のアミノ基を転移することにより合成される。分解時にはオキサロ酢酸になり、クエン酸回路 (TCAサイクル) に入る。体内の窒素代謝やエネルギー代謝に関与する。</p>
法規・制度	<ul style="list-style-type: none">■ 食薬区分 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。■ 日本薬局方 ・ L-アスパラギン酸が収載されている。■ 食品添加物 ・ 既存添加物:調味料 ・ 指定添加物 L-アスパラギン酸ナトリウム：調味料、強化剤
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ 略号AspまたはD、 $C_4H_7NO_4$ 、分子量 (MW) 133.10。L-体の融点は269~271℃ (31)。

分析法	・イオン交換クロマトグラフィーにて分離後、ニンヒドリンなどの発色試薬で発色し、アミノ酸自動分析計（波長440 nmまたは570 nm）により分析する方法が一般的である (101)。	
有効性		
ヒトでの評価	循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(101) 日本食品成分表2015年版 (七訂) 分析マニュアル・解説 建帛社 (PMID:10986219) Gut. 2000 Oct;47(4):571-4. (31) 理化学辞典 第5版 岩波書店	